

備前市事務事業評価シート

(平成23年度事業)

事業の概要			
事業開始年度	S46~		根拠法令・例規等
総合計画 大項目 基本目標	04	もてなしの心とたくましさのあるまちづくり	問 担当課(室) 商工観光課 職・氏名 観光係長 金藤 康樹 電 話 64-1832(274) 合先 このシート作成に要した時間 3.5 時間
中項目 基本施策	03	個性あふれる観光のまちづくり	
小項目 施策	01	観光	
事務事業名	02	観光団体等支援事業	

事業の目的		
対象 (誰・何に対して)	観光関連団体	
目的 (何のために)	観光案内サービス、観光PR活動の推進に取り組む団体等に、補助金を交付することにより、団体の目的達成のための支援をする。また、観光施策の推進のためには官民の相互協力が不可欠である。	
事業の意図する成果 (どのような状態にしたいのか)	観光団体等の会員の増加	

事業の実績		
細事業名	事業の説明	優先度
備前市観光協会補助事業	備前市観光協会への運営に要する費用の一部補助(1,283,000円)	
日生町観光協会補助事業	日生町観光協会への運営に要する費用の一部補助(1,800,000円)	
吉永町観光協会補助事業	吉永町観光協会への運営に要する費用の一部補助(180,000円)	
片鉄口マン街道ウォーキング大会補助事業	片鉄口マン街道ウォーキング大会に要する経費の一部補助(500,000円)	
和意谷史跡保存会助成事業	和意谷史跡である参道の草刈等に対し保存会へ80,000円補助	
八塔寺ふるさと村運営協議会助成事業	資料館、公園管理、遊歩道整備等に対して八塔寺ふるさと村運営協議会へ補助。450,000円	
県ふるさと村運営協議会費	備前(八塔寺)津山(大高下)鏡野(越畑)高梁(石火矢、吹屋)吉備中央(円城)笠岡(真鍋島)が加入しており、負担金90,000円	

決算額	事業費等	単位	平成21年度実績	平成22年度実績	平成23年度実績
	直接事業費	千円	4,228	4,728	4,398
事業費	必要人員費	人件費	0.05人	536	0.05人
	事業費	計	4,764	5,248	4,880
財源	国	支出金			
	受	益者負担			
	繰	入金			
	市	債			
	その他()				
一般財源		4,764	5,248	4,880	
受益者負担比率	%	-	-	-	

結果指標	結果指標名	単位	平成21年度実績	平成22年度実績	平成23年度実績
	会員数/人口	説明	観光協会会員数を市人口で除した割合		
	結果指標量	%	0.91	0.95	0.95
	対前年比	%		104.4%	100.0%
	活動コスト	円	4,764,000	5,248,000	4,880,000
単位当たりコスト		5,235,165	5,524,211	5,136,842	

事業の成果					
成果指標名	年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度目標値
観光協会等会員の人口比	目標値(A)	1.1	1.1	1.1	1.1
	実績値(B)	0.91	0.95	0.95	到達目標値
	達成率(B/A)	82.73%	86.36%	86.36%	毎年度
成果指標設定の考え方・式や説明					
観光協会等の活動が、会員の増加につながり観光振興に結びついているかの判断材料として人口比率を用いる。					

事務事業の評価		該当する項目を から へ < 「コピー」して「貼り付け」してください >	Check
妥当性の評価	市の関与の妥当性	市が実施するよう法令で義務づけられている 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない 事業の内容が一部の受益者に偏っている 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である 事業開始当初の目的から変化してきている 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある	妥当性評価 ABCDE 高や普や低 いや通やい 高 低 い い B
	市民ニーズ	市民・団体等から要望・要請が強い	
効率性の評価	コスト	単位当たりコストは前年度と比較して改善している 実施方法(派遣・委託含)を見直すことでコストを下げる余地がある 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい 受益者負担率は適正である 受益者負担率を見直す余地がある サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	効率性評価 ABCDE 高や普や低 いや通やい 高 低 い い B
	有効性の評価	目的達成度 市民参画度	有効性評価 ABCDE 高や普や低 いや通やい 高 低 い い C

進行年度(H24年度)の改革改善内容							
状況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
説明	観光協会の統合は今後の課題である。						

総合評価	
観光協会の統合は必要であるが、地域性と独自性を活かしながらの活動を行っており、統合に向け、定期的に情報交換するなど、相互に連携が図られている。	総合評価 ABCDE 高や普や低 いや通やい 高 低 い い B

平成25年度の方向性・取組目標							
方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
取組目標	観光協会3団体の統合は必要である。今後も調整に時間を要するが推進していくべきである。						



事業の目的やその数値目標を評価する